

令和 4 年 6 月 13 日現在

機関番号：13301

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2018～2021

課題番号：18K11896

研究課題名(和文) 卵子提供・代理出産に関わる当事者への支援と生殖補助医療の法制度化に向けた課題

研究課題名(英文) A project for support toward individuals who underwent egg donation and/or surrogacy, and legislation of assisted reproductive technologies.

研究代表者

日比野 由利 (HIBINO, YURI)

金沢大学・融合科学系・助教

研究者番号：40362008

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：次の目的に沿って研究を実施した。1. 卵子提供・代理出産によって形成される家族について、調査研究を行う。2. 子どもにどのように告知するか、「出自を知る権利」をどのように保障すべきかを検討する。3. 国内での望ましい法制度や、国内の当事者に向けた支援策を検討する。上記のテーマに関して新しく出版された研究論文や刊行物を読み、検討した。ZOOMを用いてインタビューを実施した。海外の当事者、国内の当事者にもインタビューを行うことができた。得られた情報のうち、公開可能なものはホームページに掲載した。得られたデータに基づいて、研究論文を執筆した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究を実施することで、非西欧社会を含めた諸外国の運用状況や当事者の声に関してより多くの情報を収集し、新たな研究視角を得ることができる。当事者の声を元に法制度に反映させるべく支援ニーズを把握することができる。国内には、当事者同士が対面で語り合える場はほとんどなく、当事者のエンパワーとテリングの促進、そして子の福祉の増進に役立つことが期待できる。

研究成果の概要(英文)：Clarify what kind of experience the parties involved in egg donation and surrogacy have, provide support that meets the needs of the parties, and consider desirable legal systemization. While family formation using reproductive techniques such as egg donation and surrogacy has become widespread in Japan, the actual situation of the parties concerned is insufficiently understood, and the law and society have not been able to respond to various realities. 1) Conduct research on legal systems in other countries and activities of support groups. 2) Understand the actual situation and needs of the parties. 3) Provide information and network to domestic parties.

研究分野：社会学

キーワード：卵子提供 代理出産 法制化 当事者

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

卵子提供や代理出産など、第三者が関わる生殖技術を利用した家族形成が国内で浸透してきている一方で、当事者の実態についての把握が不十分であり、多様な現実に法や社会は対応できていない。こうした制度と実態の乖離を埋めるため、本研究を実施し、実態解明を進めることが必要である。

このため、本研究では、以下を当初の研究計画として組み込んでいた。1. 諸外国の法制度や支援グループの活動等の調査研究を行う。2. 当事者の実態やニーズを把握する。3. 国内の当事者への情報提供とネットワークづくりを行う。

本研究を実施することで、非西欧社会を含めた諸外国の運用状況や当事者の声に関してより多くの情報を収集し、新たな研究視角を得ることができる。当事者の声を元に法制度に反映させるべく支援ニーズを把握する。国内には、当事者同士が対面で語り合える場はほとんどないため、本研究を進めることで、当事者のエンパワーとテリングの促進、そして子の福祉の増進に役立つ。

2. 研究の目的

本研究の目的は、国内外の調査研究を通して、卵子提供・代理出産に関わる当事者が、どのような経験をしているかを明らかにし、当事者のニーズに合った支援を行うことや、望ましい法制度化を考察することである。本研究の実施期間中、「生殖補助医療の提供及びこれにより出生した子の親子関係に関する民法の特例に関する法律」が施行された。代理出産、及び出自を知る権利については今後2年ほどを目処に議論を取りまとめていくとされた。長年、懸案だった法律上の親子関係が明確にされたものの、当事者の実態解明と支援ニーズの把握は、途についたばかりである。

3. 研究の方法

文献によって情報収集を行うほか、インタビューを実施して当事者の声と実態を把握することを目指した。世界の情勢を把握するため、主として英語論文を検討した。また、時節柄、インタビューはweb会議システムを利用して行った。

4. 研究成果

世界中に点在するグループや個人の中から、本研究にとって重要な対象を選び出し、電子メールでアポイントを取り、Web会議システムを利用してインタビューを行った。親のためのグループ、精子提供で生まれた当事者、代理出産で生まれた当事者、代理出産で親になったゲイカップル、当該分野で注目すべき成果を挙げている研究者にアポイントを取ることができた。インタビュー内容の要約を自身のホームページに掲載した。関連分野の研究者やメディア関係者、学生など関心を持つ人々が自由に参照でき、この分野の研究の活性化に資することができた。また、自身が論文を執筆する際には、こうした資料を適宜引用することで説得力を持たせることができた。研究内容の進捗に伴い、自身のホームページを改定し、海外に向けた情報発信にも力を入れることができた。一方、国内の当事者向けに実施を予定していたセミナーは中止することになった。国内の当事者へのインタビューを試みたが、ごく少数例のみにとどま

り、論文執筆までには至らなかった。今後も引き続き、時間をかけて調査対象者を発掘する必要がある。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計12件（うち査読付論文 7件 / うち国際共著 2件 / うちオープンアクセス 6件）

1. 著者名 日比野由利	4. 巻 4月号
2. 論文標題 生殖の商品化のゆくえ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 すばる	6. 最初と最後の頁 182-191
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuri Hibino	4. 巻 5月
2. 論文標題 Non-Commercial Surrogacy in Thailand: Ethical, Legal, Social Implications in Local and Global Context	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Asian Bioethics Review	6. 最初と最後の頁 なし
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1007/s41649-020-00126-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuri Hibino and Sonia Allan	4. 巻 7月
2. 論文標題 Absence of laws regarding sperm and oocyte donation in Japan and the impacts on donors, parents and the people born as a result.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Reproductive Medicine and Biology	6. 最初と最後の頁 なし
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1002/rmb2.12329	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Yuri Hibino, Sonia Allan, and Damian Adams	4. 巻 11月
2. 論文標題 Continuing issues and debate concerning transnational commercial surrogacy during the COVID-19 pandemic and beyond.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BioNews 1074.	6. 最初と最後の頁 なし
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 日比野由利	4. 巻 3402号
2. 論文標題 第三者が関与する生殖医療に関する国際協調と規制の可能性	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 週刊医学界新聞 (「生殖医療と生命倫理-医学の発展は何をもたらすのか」)	6. 最初と最後の頁 なし
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 日比野由利	4. 巻 7月
2. 論文標題 書評「村上薫編 不妊治療の時代の中東-家族を作る、家族を生きる」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ジェンダー研究	6. 最初と最後の頁 262-264
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24567/0063815	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 日比野由利	4. 巻 3
2. 論文標題 生殖補助医療における「出自を知る権利」をめぐる法制度 - イギリスとオーストラリアの比較 -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 社会保障研究	6. 最初と最後の頁 137-147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 日比野由利	4. 巻 72
2. 論文標題 生殖ツーリズムへの対応: オーストラリアの事例	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 医療	6. 最初と最後の頁 155-160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 日比野由利	4. 巻 93
2. 論文標題 臨床試験としての子宮移植	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 女たちの21世紀	6. 最初と最後の頁 46-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hibino Yuri	4. 巻 Apr 19
2. 論文標題 Non-commercial surrogacy among close relatives in Vietnam: policy and ethical implications	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Human Fertility	6. 最初と最後の頁 1~4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/14647273.2018.1461936	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 日比野由利	4. 巻 80
2. 論文標題 代理出産者への配慮の可能性～インド、タイの実情と変化を素材に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 比較法研究	6. 最初と最後の頁 231-237
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 日比野由利	4. 巻 73
2. 論文標題 「出自を知る権利」に関し、どのような制度設計が望ましいのか	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医療	6. 最初と最後の頁 7-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計10件（うち招待講演 5件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 日比野由利
2. 発表標題 子どもの知る権利について
3. 学会等名 第37回日本受精着床学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 林はるみ・日比野由利
2. 発表標題 第三者からの卵子提供で妻が妊娠した男性の経験
3. 学会等名 第37回日本受精着床学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 日比野由利
2. 発表標題 卵子ドナー、代理母、依頼親、子どもたちのコミュニティ
3. 学会等名 卵子提供・代理出産で家族をつくる(第7回)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 日比野由利
2. 発表標題 配偶子の匿名性・非匿名性に関する世界の動き:レビュー
3. 学会等名 生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 日比野由利
2. 発表標題 遺伝的つながり、生物学的つながり
3. 学会等名 卵子提供・代理出産で家族をつくる(第5回)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 日比野由利
2. 発表標題 代理出産者への配慮の可能性～インド、タイの実情と変化を素材に
3. 学会等名 比較法学会(提供型生殖補助医療(代理懐胎を含む)における人権保護の課題)(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 日比野由利
2. 発表標題 世界の代理出産の現状～商業的代理出産から利他的代理出産へ
3. 学会等名 IGSセミナー生殖領域1(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 日比野由利
2. 発表標題 海外での治療、検討すべきポイント
3. 学会等名 卵子提供・代理出産で家族をつくる(第5回)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 日比野由利
2. 発表標題 女性の役割-これまでに行った研究から考えたこと
3. 学会等名 女性研究者フォーラム 女性社会学者として「女性」の研究をすること(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 日比野由利
2. 発表標題 アジアの生殖補助医療 - 生殖医療ツーリズムの拡大から廃止、法制度化へ
3. 学会等名 シンポジウム アジアのリプロダクションは今 生殖補助医療とジェンダー(招待講演)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 甲斐 克則	4. 発行年 2018年
2. 出版社 信山社出版	5. 総ページ数 592
3. 書名 医事法辞典	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------